

ボリショイ・バレエ 2017

News VOL.1

SWAN LAKE

“真実の愛”を求める王子、“永遠の愛”を信じるオデット姫 世界のボリショイが贈る『白鳥の湖』決定版

ジークフリート王子の誕生日を祝い、華やかな宴が開かれている。王子は荘厳な儀式の中で騎士となり、母である王妃から花嫁を迎えるよう促される。娘たちと軽やかに踊る王子だが、“真実の愛”を求める心の内は晴れない。

王子は悪魔ロットバルトの不思議な力に引き寄せられるように、湖のほとりにたどり着く。そこで見たのは魔法によって白鳥に姿を変えられた乙女たち。その中でも最も美しいオデット姫に“真実の愛”を感じ、ジークフリート王子は愛と忠誠を誓う。“永遠の愛”の誓いによって、乙女たちにかげられた魔法もとけるのだ。

シプーリナ

城では、各国から花嫁候補の姫たちが集まり、魅力的な踊りを披露している。しかし、湖で出会ったオデット姫が頭から離れない王子。彼女以外に理想の花嫁はいないのだ。そこに突然、オデット姫に生き写しのオディール姫がロットバルトに伴われて登場し、王子の心を試す。企みにはまり、オディール姫に“永遠の愛”を誓った瞬間、王子は運命に弄ばれたことを知る。

スミルノワ

王子の裏切りを知り嘆き悲しむ白鳥たち。誓いを破ったことを悔い、許しを請うジークフリート王子を、オデット姫は許す。しかし、ロットバルトとの一騎打ちで敗れた王子は、悪魔に連れ去られ消えていくオデット姫を救うことができない。運命を変えることはできず、王子は湖のほとりでひとり佇むのだった。



王子とオデット姫 運命の出会い。二人が踊るパド・ドゥは、究極の美しさ。



手をつなぎ、呼吸をあわせて踊る有名な“4羽の白鳥”



王子を操る悪魔ロットバルト。激しい踊りはグリゴロヴィチ版のみどころ。



32回の連続回転など、喝采に包まれる華やかな舞踏会のシーン。



深い余韻とともに、物語は悲劇的な結末を迎える。

今回の来日公演 必見のスターダンサーたち

Principal Dancers



オルガ・スミルノワ
Olga Smirnova

バレエ学校時代から注目され、2011年ボリショイ・バレエに入団。次々と主役を務め、世界中から熱い視線を浴びる。ボリショイの“新女王”。

6/7(水)18:30「白鳥の湖」出演予定
6/12(月)18:30「白鳥の湖」



エフゲーニヤ・オブラストゾワ
Evgenia Obraztsova

マリンスキー・バレエで主役ダンサーとして活躍した後、2012年にボリショイ・バレエに移籍。彼女の「ジゼル」は涙なしには見られない…!

6/4(日)13:00「ジゼル」出演予定



ユリア・ステパノワ
Yulia Stepanova

2015年にボリショイ・バレエに入団。往年の名花リユドミラ・セメニャカ指導の下、今夏のロンドン公演時に電撃昇進。話題のライジング・スター!

6/11(日)18:00「白鳥の湖」出演予定



アルチョム・オフチャレンコ
Artem Ovcharenko

バレエ団を代表するプリンシパルとして活躍するが、日本公演へは今回が初参加。甘いマスクとシャープな踊りが魅力の絶対プリンス!

6/8(木)13:00「白鳥の湖」出演予定
6/11(日)18:00「白鳥の湖」

パリの炎



6/14(水) 19:00「パリの炎」
6/ 5(月) 19:00「ジゼル」 出演予定

ダイナミックでカッコいい踊りで
観客を魅了したラントラートフ



現地公演速報!



終演後、次の舞台に向けて、芸術監督ワジエフからのアドバイスに耳を傾ける

小雪舞う11月上旬、モスクワのポリショイ劇場で『パリの炎』が上演されました。観客を飽きさせないスピーディでわかりやすいストーリー展開、コミカルな場面あり、心をわしづかみにされるようなシリアスな場面あり…息もつかせぬ舞台に観客席からは大喝采が沸きおこりました。革命の成功を祝って踊られる主演カップルによる終盤の名パド・ドゥは言うまでもなく、革命を目指す革命軍と民衆たちが、ドラムのリズムによって力強く地面を打ち鳴らし生き生きと踊るシーンは、見ている側も自然と楽しく気持ちが高揚します。“生”の歓び、“新たな未来への希望”を感じさせるこの演目は、印象的な音楽とともに深く心に刻まれます。日本初上陸のステージをお見逃しなく。

プリンシパルから群舞1人1人まで、飛び! 回り! 躍動し!
そして役を生き抜く! ポリショイの魂が宿る“熱い”舞台がここに!

Ivan Vasiliev
イワン・ワシーリエフ
Interview

『パリの炎』のパド・ドゥを日本で幾度となく披露し、大旋風を巻き起こしてきたワシーリエフ。十八番演目がいよいよ全幕バレエとして日本初上陸。ラトマンスキー改訂振付版の初演ダンサーとして、この演目の魅力を語ってくれました。

この演目はあなたの代表作。このフィリップ役とあなた自身との共通する部分はどのようなところでしょうか?

男らしく、雄々しく強い性格、そして現状に甘んじることなく、何かに抵抗して、殻を突き破って自分や社会を変えていこうとする革命的な意志でしょうか。

2008年にラトマンスキーが改訂振付した際のエピソードを教えてくださいませんか?

とても楽しい作業でした。稽古初日から、ラトマンスキーは私に「このヴァリエーションはどんな風に踊っているの? 踊ってみてくれない?」「あのヴァリエーションは?」と質問をしてくれました。私がひと通り踊って見せると「君のヴァリエーションで振り付けよう!」と言って、私が踊ったヴァリエーションをベースにして振り付けることになったのです。私はそれまでに、バレエ学校時代を含めると13年間もガラ公演などで『パリの炎』のパド・ドゥやヴァリエーションを踊ってきましたが、全幕を通して踊るのはこの時が初めてだったので、色々新たな発見もありました。ガラ公演では、作品の一部を切り取って踊るので、観客の皆さんにドラマ性を感じていただくのが難しいのですが、全幕を踊ったことで一貫したストーリーの中で“フィリップの人生を生きる”という確かな感触がありました。お客様も、華麗な踊りだけでなく、ドラマの醍醐味も楽しんでいただけていないでしょうか。



テクニカルな部分が注目されやすい作品ですが、あなたが伝えたい他の魅力はどこでしょうか?

ドラマ性とエネルギー。いくらアクロバティックに派手に踊って見せても、心の底からほとばしるエネルギーが感じられなければ、空疎な踊りになってしまうでしょうから。



6/15(木) 19:00「パリの炎」出演予定

ところで、今回はポリショイ・バレエのゲスト・プリンシパルとしての参加です。いまは様々な舞台で世界的に活躍なさっていますが、ポリショイ・バレエ在籍時と今とで変わったことは?

「ポリショイ劇場を去った」という実感はありません。たしかに、ポリショイ劇場の専属ダンサーではなくなり、世界各国のバレエ団に招かれることも多くなりました。ただ、ポリショイ劇場でも頻りに踊っていて、ポリショイ劇場に出演しなかったシーズンは一度もありません。変わったことと言えば、最近では振付もするようになりました。この1年半ほどの間に、4本の1幕構成のバレエを振付けました。さらに今年の12月31日にはサンクトペテルブルグで、チャールズ・ディケンズ原作、チャイコフスキーの音楽による『クリスマス・キャロル』を振付・上演する予定です。これまでの4作品は1幕構成のバレエでしたが、今度は2幕構成のバレエに挑戦です。

ダンサーとしてだけでなく、振付家としても活動を始めたワシーリエフ。その豪快なジャンプさながらに、その活動も高く飛躍しています!

ポリショイ・バレエ 2017 6/4(日)~6/15(木) 東京文化会館

最新情報をお届けいたします!
twitter @ja_ballet

演目	日程	予定キャスト
「ジゼル」(全2幕) <small>(上演時間:約2時間20分(休憩1回含む)) 作曲:アドルフ・ファン 原振付:ジャン・コラーリ/ジュール・ペロー/マリウス・ブティバ 改訂振付:ユーリー・グリゴロヴィチ</small>	6/4(日) 13:00	エフゲーニヤ・オブラストコワ/イーゴリ・ツヴィルコ
	6/4(日) 19:00 <small>残席僅少</small>	スヴェトラナ・ザハーロワ/デニス・ロヂキン
	6/5(月) 19:00	エカテリーナ・クリサノワ/ウラディスラフ・ラントラートフ
「白鳥の湖」(全2幕4場) <small>(上演時間:約2時間35分(休憩1回含む)) 作曲:ピョートル・チャイコフスキー 原振付:マリウス・ブティバ/レフ・イワノフ/ アレクサンドル・ゴールスキー 改訂振付:ユーリー・グリゴロヴィチ(2001年版)</small>	6/7(水) 18:30	オルガ・スミルノワ/セミヨン・チュージン
	6/8(木) 13:00	エカテリーナ・シプリーナ/アルチョム・オフチャレンコ
	6/8(木) 19:00 <small>完売</small>	スヴェトラナ・ザハーロワ/デニス・ロヂキン
	6/11(日) 18:00	ユリア・ステパノワ/アルチョム・オフチャレンコ
	6/12(月) 18:30	オルガ・スミルノワ/セミヨン・チュージン
「パリの炎」(全2幕) <small>(上演時間:約2時間15分(休憩1回含む)) 作曲:ボリス・アサフィエフ 原振付:ワシリー・ワイノネン 改訂振付:アレクセイ・ラトマンスキー</small>	6/14(水) 19:00	エカテリーナ・クリサノワ/ウラディスラフ・ラントラートフ
	6/15(木) 19:00	エカテリーナ・シプリーナ/イワン・ワシーリエフ

東京文化会館

上記出演者は2016年11月28日現在の来日予定メンバーです。出演者は、病気、怪我、その他の止むを得ない事情で変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。一旦お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除きキャンセル・公演日の振替等をお受けしていませんので、あらかじめご了承ください。ただし、6/4(日)19:00「ジゼル」、6/8(木)19:00「白鳥の湖」公演については、ザハーロワの出演がなくなった場合に限り、他公演チケットとの差額をご返却させていただきます。ご承諾いただけない場合は、当日券のご利用をお願いいたします。(前売りで売り切れとなった場合は当日券の販売はございません。)

(チケットのお申込み) **ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040 www.japanarts.co.jp/**

◎ 東京文化会館チケットサービス: 03-5685-0650 ◎ チケットぴあ: t.pia.jp 0570-02-9999(Pコード:452-242)
◎ イープラス: eplus.jp ◎ ローソンチケット: 0570-000-407(Lコード:36528)

〈チケット料金(6/4(日)19:00, 6/8(木)19:00公演を除く)〉

S¥24,000 A¥20,000 B¥17,000 C¥13,000 D¥9,000
〈夢倶楽部会員料金〉S¥23,000 A¥19,000 B¥16,000 C¥12,000 D¥8,100

〈ザハーロワ主演公演〉6/4(日)19:00「ジゼル」 6/8(木)19:00 **完売** 「白鳥の湖」
S¥ **完売** A¥22,000 B¥19,000 C¥15,000 D¥ **完売**
〈夢倶楽部会員料金〉S¥ **完売** A¥21,000 B¥18,000 C¥14,000 D¥ **完売**

お得な3演目セット券 (S,A,B券対象)

3演目全てをお買い求めいただくと、
もれなく**3,000円**割引!

※ジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方は、夢倶楽部会員価格からの割引となります。※3演目セット券は、ジャパン・アーツぴあコールセンターでのTEL受付のみとなります。

〈特別割引チケット〉ジャパン・アーツぴあコールセンター及びWEBジャパン・アーツぴあ受付

〈学生席(各ランクの半額)〉※社会人学生を除く公演当日に25歳までの学生が対象です。※夢倶楽部会員の学生の方も一般価格の半額です。残券がある場合に限り、2017年3月1日(水)10:00より受付をいたします。当日は入口で学生証を拝見いたします。学生証をご提示いただけない場合は、一般料金との差額を頂戴することがございますので、必ずお持ち下さい。

〈その他の割引チケット〉※シニア・チケット:65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。※車椅子スペースを車椅子でご利用の場合、割引がございます。(本人と付き添いの方1名まで)事前にジャパン・アーツぴあコールセンターまでお申込み下さい。

主催:朝日新聞社/ジャパン・アーツ 後援:ロシア連邦大使館

〈ポリショイ・バレエ 2017日本公演〉

他日公演日程	会場	演目	お問い合わせ
6月2日(金)	広島文化学園HBGホール	「白鳥の湖」	広テレイベントインフォメーションセンター 082-249-1218
6月10日(土)	びわ湖ホール 大ホール	「パリの炎」	びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136
6月16日(金)	仙台・イズミティ21大ホール	「白鳥の湖」	仙台市市民文化事業団 022-727-1875
6月17日(土)	フェスティバルホール	「ジゼル」	フェスティバルホールチケットセンター 06-6231-2221
6月18日(日)	フェスティバルホール	「白鳥の湖」	フェスティバルホールチケットセンター 06-6231-2221

次のことをご了承の上、チケットをお求めください ①開演時間に遅れますと長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③4歳未満の乳幼児の同伴はお断りいたします。なお、4歳以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。④全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑤場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑥ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑦他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。

Photo: Damir Yusupov, Hidemi Seto